

第10回フードドライブにご協力ありがとうございました!

5月18日(月)~6月30日(火)の期間で行われた第10回フードドライブが無事終了しました。受取場所は、これまで最高の県内約70箇所以上となり、房総地域も含め県内全域に広がりつつあります。ご寄贈いただいた食品は、合計**約3.5トン**ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。なお、次回以降のフードドライブの日程は以下の通りです。各団体におかれましては、ぜひフードドライブを年間計画に位置付けていただけますよう、ご検討のほどよろしくお願いいたします。



受取り窓口での回収の様子

次回第11回フードドライブ **2015年9月14日(月)~10月30日(金)**

第12回フードドライブ **2016年1月12日(火)~2月29日(月)**

余ってませんか。もったいない食品大募集中!!

【ご家庭から】

家庭で余っている食品(保存可能な物)を募集しています。

寄付いただきたい食品

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 穀類(お米、麺類、小麦等) | <input type="checkbox"/> 保存食品(缶詰、瓶詰等) |
| <input type="checkbox"/> 乾物(のり・豆など) | <input type="checkbox"/> インスタント食品・レトルト食品 |
| <input type="checkbox"/> 調味料各種、食用油 | <input type="checkbox"/> ギフトパック(お歳暮・お中元等) |
| <input type="checkbox"/> 飲料(ジュース・コーヒー・お茶等) | |



個人支援に利用させていただいている食品の一例

【企業等から】

包材の破損や賞味期限間近などにより、廃棄する予定の食品(賞味期限1カ月以上)などがございましたら、ぜひご寄贈ください。条件等は別途ご相談させていただきます。

ご寄付のお願い

フードバンクちばでは、みなさまのご寄付や協賛金を受け付けております。活動をご理解いただき、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。ご協力には下記郵便振替口座をご利用下さい。

● 郵便振替口座

口座名義: **フードバンクちば** 口座番号: **00150-2-652117**

● ゆうちょ以外からの振込先

銀行名: ゆうちょ銀行 種別: 当座 支店名: ○一九店 口座番号: 0652117 口座名義: フードバンクちば

お問い合わせ

ボランティア活動に参加してみたいという方を随時募集しています。またフードバンク活動についての詳細などお気軽にお問い合わせください。

☎ **043-375-6804** 平日 10:00~17:00 ☎ **043-242-8900**

※スタッフ不在の場合は、留守番電話にお名前とご連絡先電話番号をお話しく下さい。折り返しこちらからご連絡いたします。

✉ fbchiba@jigyoudan.com

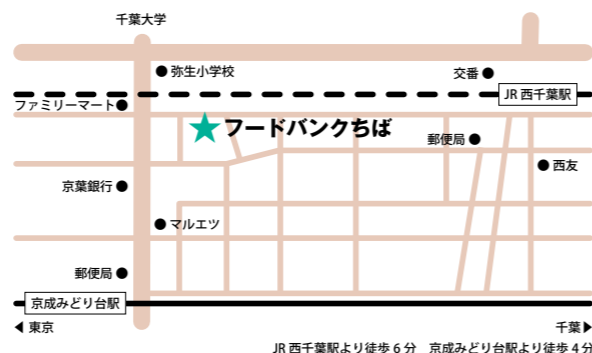
🌐 <http://foodbank-chiba.com>

ブログ: fbchiba.ko-me.com

フードバンクちば

ワーカーズコープちば 企業組合労働協働事業団
サポートセンターオアシス内

〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11コーポ立花101



JR西千葉駅より徒歩6分 京成みどり台駅より徒歩4分

フードバンクちば通信

フードバンクちば(企業組合労働協働事業団:サポートセンター「オアシス」内)〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11コーポ立花101

フードバンクちばは3周年を迎えました。

設立3年が経ち、フードバンクちばの活動も大きく広がりました。フードバンクの持続可能な発展方向について、関係機関の方々と検討を開始しました。



Vol.12

2015年
8月1日発行

CONTENTS

- 1 フードバンクちば3周年イベント「千葉に広がるフードバンク活動」
- 2 フードバンクちばの支援状況をお知らせします。
- 3 フードバンクちば運営検討会議を行いました。
- 4 各方面のイベントや会議へ参加し、フードバンクの普及に努めています。
- 5 企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。
- 6 第10回フードドライブにご協力ありがとうございました!

現在までの支援状況

2015年4月~7月までに提供した食品

<団体> 約4.9トン

<個人> 約3.9トン

内訳:お米・調味料・パスタ・そうめん・ツナ缶・ジャム・菓子・飲料など

フードバンクちば3周年イベント「千葉に広がるフードバンク活動」

おかげさまでフードバンクちばも3周年イベントは盛況のうちに終了しました。

6月7日(日)千葉大学にて開催しました。第1部では、この1年の活動報告があり、2015年4月の個人支援の件数が160件にまで増えていることなどが示されました。

第2部「フードバンクちばの現在」シンポジウムでは、食品提供企業の立場から船橋市の三和商事(株)の倉持晃さんが、企業のCSR活動の一環として災害備蓄食品を復路の空のトラックも利用してフードバンクに提供していること等を、旭ヶ丘母子ホームの玉木邦子さんからは、入居する37世帯の母子の生活支援にフードバンク食品を活用している様子を写真で、白井市社会福祉協議会の赤間賢二さんからは、市内8カ所の公共施設で通年で食品を集めている実践・フードバンクを活用しての支援等を、船橋市保健と福祉の総合相談窓口さーくるの赤堀久里子さんは、生活困窮者自立支援制度における利用状況を取り上げ、フードバンクが人と人をつなぐ大切な社会資源であると、報告されました。最後に千葉大学の伊丹謙太郎さんが、今後フードバンクに関わる人の情報共有が大切になってくるのではないかとまとめられました。

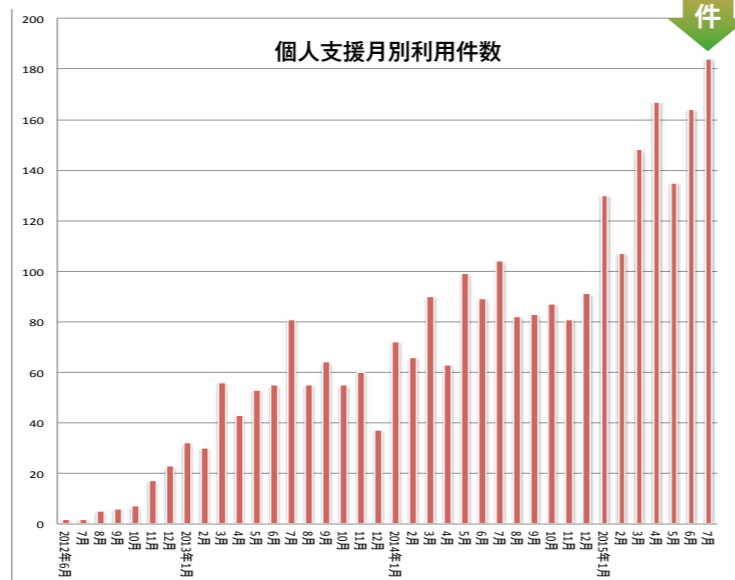
第3部は、フードバンク食品やワーカーズコープちばのオアシス農場で採れた野菜を



利用した美味しいランチをいただきながら、参加者の交流を行いました。フードバンクちばも設立から3年が経ち、県内全域の社会福祉協議会等との連携が進み、地域の福祉活動になくてはならない資源となりつつあります。生活困窮者自立支援制度の開始も相まって、ますます発展させていきたいと思っております。

フードバンクちばの支援状況をお知らせします。

1月以降は、毎月100件以上の支援を行うようになってきました。また、4月に生活困窮者自立支援制度が開始になり、直近7月の支援は180件を越えました。個人宅への直接配送だけでなく、食品をストックして状況を把握しながら、直接支援者へ提供する支援機関も増えており、実際の支援数はさらに多くなっていると考えられます。フードバンクちばでは、現在30市町の社会福祉協議会、同じく約20市町の社会福祉関連部署、その他、中核地域生活支援センター、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、福祉施設等、全部で100ヶ所ほどの相談・支援窓口と連携して、食べるものに困った方々への食品支援を行っています。



市役所より (5月)
70代父親
40代母親
10代2人
自宅などのローンが支払えず、法テラスにて自己破産の手続き中。競売により自宅を手放し、アパートへ転居。合わせて生活保護を申請。決定までフードバンクを利用。

社会福祉協議会より (6月)
30代男性
昨年母親が他界。義父との2人暮らしが始まるが、虐待を受け、実家を出て友人の家の倉庫で生活するようになる。イベントなどで仕事をしているが、収入が少なく生活が立ち行かない。

社会福祉協議会より (5月)
30代父親
20代母親
10代未満2人
外国籍の家族。父親は失業中で失業給付で生計を立てているが、0歳児のミルクを買うこともできない状況。フードバンクを利用し、今後は市役所と連携して支援していく予定。

市役所より (5・7月)
60代夫婦
年金と妻の障害手当で生活。生活保護には該当しない世帯。医療費の負担が増え、生活費を圧迫。医療費減額の手続きをする予定であるが、当座の生活を賄うためフードバンクを利用。

自立相談支援機関より (5月)
40代男性
5年の離職期間中に税金や貸付金を滞納。夜勤の仕事に就いたものの返済が追いつかない。次回の給料日までフードバンクを利用する。

地域包括支援センターより (7月)
80代母親
50代女性
母親は認知症が進行。50代の娘は糖尿病および知的発達遅滞と思われる。介入拒否状態が続いていたが、自宅に訪問すると水道は止められており、食料は調味料がわずかに残っているだけだった。

フードバンクちば運営検討会議(準備会)を行いました。

フードバンクちばの活動は、認知度が高くなってきたことに加え、今年4月からの生活困窮者自立支援制度の開始もあり、個人支援の利用が急増している状況です。そこで、フードバンクちばを今後どのように運営していくか、利用についての方法や費用負担について検討する機会が必要と考え、フードバンクを利用いただいている県内の社会福祉協議会や生活困窮者の自立相談支援機関、研究者等の方々(参加12人、欠席2人)にお集まりいただき、6月24日(火)に千葉県社会福祉センター会議室にて運営検討会議(準備会)を開催しました。はじめに、代表の菊地より、フードバンクちばの活動①法外・民間の支援として誰でも利用できる②簡便な手続きですぐに利用できる③フードバンク活動を通じた地域づくり、の3点を大切にしていること(理念)が報告されました。その後の意見交換では、フードバンクの利用状況や費用負担のあり方について、率直な意見交換があり、まずは利用団体へのアンケート調査を行うことが提起されました。次回は8月17日に開催することとし、年度内に5回の検討会を行うことが決まりました。



各方面のイベントや会議へ参加し、フードバンクの普及に努めています。

さまざまな学習会等で報告させていただきました。

- 5月5日(火)千葉県精神保健福祉士(PSW)協会・東総ブロック有志の会企画研修会(佐倉市)でフードバンクと生活困窮者支援について報告しました。
- 5月19日(火)千葉県ことぶき大学にて、フードバンク活動の紹介とボランティアの呼びかけをさせていただきました。
- 5月26日(火)「パルシステム千葉NPO助成基金 授与式及び報告会」にて助成金の活用について報告をさせていただきました。



ふくしおべんきょうかい(イオンタウン館山)



- 6月18日(木)館山市地域包括支援センターなのはな等が主催した「ふくしおべんきょうかい」でフードバンク活動についてお話しさせていただきました。
- 7月9日(木)中核地域生活支援センター香取ネットワーク等が主催した福祉講演会「生活を支える一地域とつながる」でフードバンクの活動を紹介させていただきました。
- 7月11日(土)コープみらい「社会貢献活動助成金 活動交流会」に参加し、フードバンクの活動への協力を呼びかけました。

新聞でフードバンクちばの記事が掲載されました。

●「廃棄される食品を困っている人に一く生活困窮者自立支援法4月施行>利用倍増330世帯」賞味期限が近づいたり、包装に印字ミスがあったりして廃棄される食品を無料で引き取り、生活困窮者や福祉施設へ提供する「フードバンクちば」が設立から3年を迎えた。今年生活困窮者自立支援法が施行されたのを受けて、支援依頼が急増している。今月末まで10回目の食品引き取りしており、缶詰や乾物、レトルト食品などの提供を呼びかけている。6月23日(火)付毎日新聞千葉版

●「食品眠らせず社会貢献一福祉施設に送る/NPOなどに寄付金」食品のムダを減らし、社会貢献につなげる試みが広がってきた。家庭で食べきれない食品を生活に困った家庭や福祉施設に寄付する活動<中略>が登場している。「もったいない」と「人の役に立つ」を結ぶ一石二鳥の新しい食のリサイクルだ。7月22日(金)付日本経済新聞



企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。大切に使用させていただきます。

株式会社永谷園様との連携がスタートし、毎月定期的に食品を寄贈いただく運びとなりました。6月はインスタント味噌汁(80袋入5箱)とホットケーキミックス(20個入14箱)を、7月にはお茶漬け・ふりかけ・インスタント味噌汁・スープの素やそうざい用調味料など大きなダンボール7箱をいただきました。個人支援が急増する中、フードドライブで集めた食品も1ヶ月足らずでなくなってしまう現状があり、非常に大きな支援となっています。また、ヤマサ醤油(株)様からは引き続き、6、7月とお醤油をはじめたくさんの調味料類、船橋市の三和商事株式会社様より災害備蓄品(サバイバルパン:733個、カロリーメイト:60個入57箱)、市川市の異物総研株式会社様より冷凍のスナックブレッドとシュークリームをいただきました。ありがとうございました。



養護施設での受取りの様子